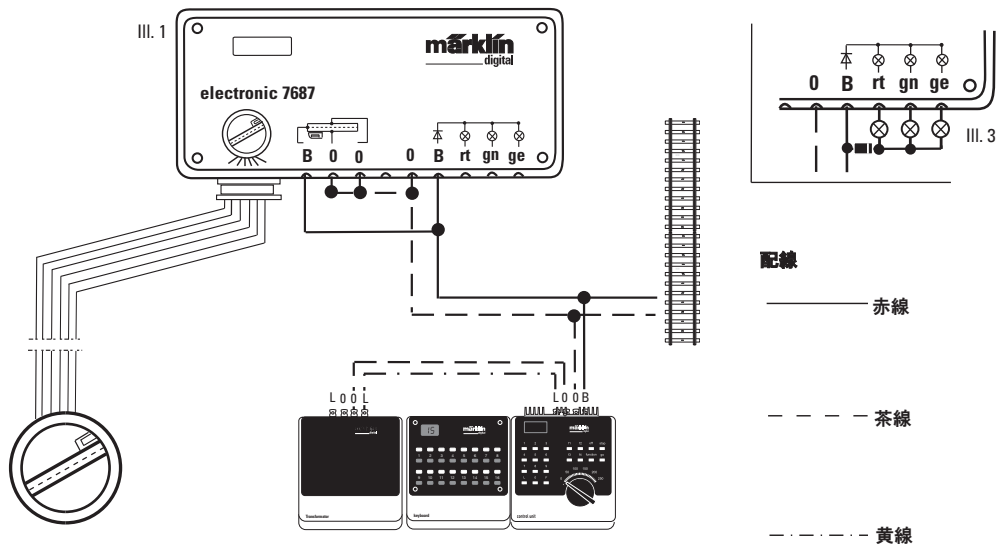


7286用デジタル化キット

7687

デコーダーとセントラルユニットまたはコントロールユニットを接続する



概要

7286のアナログターンテーブルは、7687のデジタル転換キットでコントロールしやすく使いやすい7686デジタル・ターンテーブルに改造することができます。

ターンテーブルは、この改造のために レイアウトから取り外すしたり分解する必要は、ありません。

他メーカーのターンテーブルは、7687のデジタル改造キットを取り付けることは出来ません。

7686ターンテーブルは、アナログとデジタル両方式で使用することができます。

ターンテーブルをデジタル制御するために セントラルステーション (60213/60214または60215) もしくは、セントラルユニット (6020セントラルユニットまたは6021コントロールユニット) とキーボード6040が必要です。コンピュータ (6050または6051インターフェース) やレイアウト (60213/60214/60215または60511Comboard) のスクリーン上で、レイアウトを制御することができます。

ターンテーブルをデジタルコントロールすることによって、設置された線路に直接接続されることができます。ターンテーブル・デッキは、シングルステップで次の線路に移動することができます。

ボタンの操作で、デッキの上の機関車は、どちらの方向にでも180°回転させることができます。

特別なデジタル・デコーダとコントロール・エレクトロニクスは、ターンテーブル・レシーバー装置に集積されています。

レイアウトへの組み込み

ターンテーブル・レシーバーは、ターンテーブル穴の下に、または、レイアウト・ベース・ボードの支柱にネジ止めます。

ターンテーブル・レシーバーとターンテーブルをつなぐリボン・ケーブルは、30cmです。

7687デジタル改造キットをターンテーブルに取り付けるとき、7286の従来の基板は、取り外します。

ターンテーブルの電気配線

重要：7686ターンテーブルは、メルクリンデジタルH0システム上だけで操作できるようになっています。

このターンテーブルが、メルクリンデジタル2線式レイアウトで使われることができません！

ターンテーブルとレシーバーとを接続するリボン・ケーブルは、特別な6ピンプラグをです。

レシーバーのセンター・ソケットBと0は、セントラルユニットまたはブースターの出力に接続します。

7687のデジタル改造キットを7686ターンテーブルに取り付けるとき、7686の従来のターンテーブルの既存のコントロールボックスは、取り外します。

従来のコントロールボックスとデジタル・デコーダの同時接続は、出来ません。

デジタル機関車操作のために、BOOソケットは、デジタル主回路 (セントラルステーション・セントラルユニットまたはブースターの出力に接続します。(ill. 1, ill. 2). この主回路は、ターンテーブルをコントロールするための、給電源と違って構いません。ターンテーブルのレールは、電氣的に分離されています。これは、接続されたトラックにデジタル信号を送ることができます。

レシーバーの右側のソケットは、追加機能表示のためです。(14ページ参照)

重要な情報：

デッキの旋回速度は、モーター回転数を調節することによって、設定することができます。（デコーダー設定を見てください）

コントローラとしてのキーボード

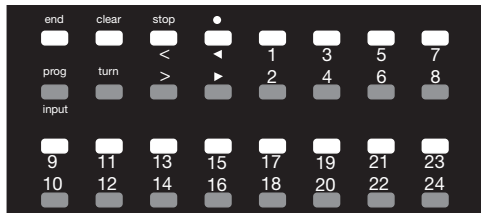
ターンテーブル・レシーバーはアドレス15のキーボードに割り当てられます。

キーボードは、デコーダーを作動させるためにアドレス15に設定しなければなりません。（キーボードについては指示を見ます）

デコーダーは、はんだを変えることによってアドレス14に変更することができます。

テンプレートはデコーダーに付属しています、このテンプレートは個々のボタンの機能を示すためにキーボードのキーパッドに置いて使用します。

接続されたトラックは、時計回りに番号が振られます。デッキ挟んでで接続される反対側のトラックは同じ番号になります。



デコーダー設定

ボタン	操作時	プログラム時
end	中断	記憶
input	最初の5秒以内に押すとプログラミング・モードへの切り替え	
clear	再開	トラックメモリー削除 現在の接続トラックがトラック1になります
turn	180° 旋回	—
step	次のトラックに移動する	次の接続トラックをプログラムするために移動する
>	右	右
<	左	左
●	回転方向	回転方向
▶	右	右
◀	左	左
1 - 24	直接プログラムされたトラックへ移動する	モーター速度を選択

プログラミング・ターンテーブル

ターンテーブルを使用する前に、または、トラックを追加・位置変更した後に、トラックの登録をしなくてはなりません。
デジタル・アクセサリ・コントローラ(CS 2)にて以下を注意して、プログラミングします。

プログラミングは、デジタル・レイアウトを電源投入(CS 2のSTOP解除)後の5秒以内に、inputボタン(CS 2では、キーボードの15)を押すことによって始めることができます。プログラミング・モードに入る時は、他のどのボタンも、押さないで下さい。内部のトラックメモリーは、プログラミング・モードで新たに設定することができます。

inputボタンを押した後に、ターンテーブルは記憶されたナンバー1の位置に自動的に移動して、それから、ピーブ音を発します。もし、他のトラックをナンバー1に設定するのであれば、デッキをその位置にステップ・ボタン > または < で回転してください。このトラックは clearボタンを押すことによって新しいナンバー1として記憶されず、そして、以前に記憶されていたトラック位置は消去されます。他のトラックは、どのような順序で設定しても構いません。ここでも、デッキは各々のトラックの登録する位置に、ステップ・ボタン>または<で回転させます。

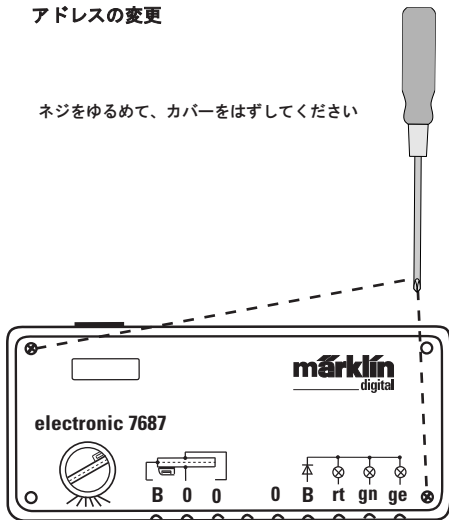
各々のトラックは、デッキを記憶させたい位置で inputボタンを押すことによって、記憶させます。
現存のトラックの全てを記憶させ終わったあとに、endボタンを押すことによってプログラミング手順は完了します。
ターンテーブルのための全ての設定はメモリーに記憶されます、そして、トラック番号は位置1から時計回りに自動的に割り当てられます。
訂正または変更が必要になった時は、プログラミング手順は、トラック1から始めて、やり直す必要が有ります。

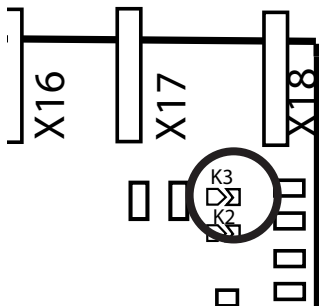
デジタル・レイアウトの電源を切っても、プログラム内容は、記憶しています。

※ プログラミング中に レール1からレール24のボタンを押すとターンテーブルの回転速度の設定になります。
あまり小さい数字を指定するとリレー音だけでターンテーブルは回らなくなってしまいます。(この場合は再度プログラミング・モードで大きな数字に設定してください)
トラック設定中にこれらのボタンを誤って押さないようにご注意ください。

アドレスの変更

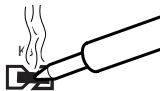
ネジをゆるめて、カバーをはずしてください





回路基板のはんだの
短絡位置

はんだで短絡するか、
しないことによって
アドレスを変える



アドレスの設定

はんだ	アドレス	キーボード
	15	
	14	

ターンテーブルの操作

デッキは、“step” > < がボタンを押すと、両方の方向でシングル・ステップ操作で動き出します。そして、デッキは、次のトラックで自動的に止まります。

“step”ボタンを押したままにすると、デッキはその次のトラックに移動します。

機関車の向きを変えるために、ターン・ボタンを押すとデッキはどんな位置からでも180° 旋回します。

デッキの位置に関係なく、トラック記憶機能を用いて、どのトラックにでもボタンを押すことで移動できます。

1から24までの希望のトラック番号のボタンを押してください。プログラムされないスポーク・トラック番号は、無視されます。

◀ ▶ ボタンでメモリートラックへ移動時の回転方向選ぶことができます

▶ 右回り（時計回り）

◀ 左回り（反時計回り）

反対方向のボタンが押されるまで、方向は維持されます。右への回転の方向の時は、▶ ボタンの上のモニタランプが点灯します。（キーボード6040だけ）

“end2” ボタンは、目的のトラックに着く前にターンテーブルを止めたい時に押します。トラックがそこになかったら、ターンテーブルは次のトラックで止まります。

“clear” ボタンを押したならば、制御手順は、再開されます。中断の間、回転の方向は ◀ or ▶ ボタンと変更することができます。

デジタル操作（機関車コントローラの“stop”ボタンによる緊急停止）の中断があったときデッキは、停止します。デジタルシステムが復旧したあと、ターンテーブルの操作を再開されることができません。

ターンテーブル・デッキが停止している時に、デジタル・レイアウトへの給電を切ってください。そうしないと、デッキ現在位置を正しく記憶することができません。

誤って主電源を切った場合は、ポジション1を修正することができます。(トラブルシューティング15ページを参照)

機関車の操作

デッキ・トラック上では、ターンテーブル・レシーバーによって機関車に給電されています。デジタル操作において、デッキ・トラックの上の機関車は、ファンクション機能は、作動したままです。(例：ヘッドライトまたは発煙)

機能モニター

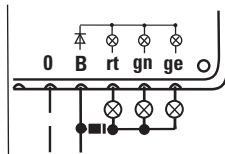
機能をモニターするために、ターンテーブル・レシーバーに3つのライトのための結線することができます。(iii. 3) 電球 (16ボルト) またはLED (適切な抵抗が必要) を、ここに接続することができます。これらのライトインジケータはターンテーブル・レシーバーのBソケットにダイオード (1N 4001...4007) を使い接続して下さい。

これらのライトは、プログラミングとターンテーブルの操作をモニターします：

- 黄色は点滅： トラック1の位置の設定準備ができています
- 黄色は点灯： プログラミング・モード
- 赤色は点灯： デッキ作動中
- 緑色は点灯： トラックに接続
- 赤色/黄色は点滅： 問題発生

このライトインジケータは、フィードバック機能のために使われることができます。(例：s 88デコーダーで)

Abb. 3



トラブルシューティング

モーターとメカニズムを保護するために、実行時間コントロールは、コントロール・エレクトロニクスに設定されます。デッキがあまりにゆっくり回っているか、いっぱいであるならば、操作は自動的に中断されます。

問題の前もって、取り除いてください（例：脱線する機関車・外部からの異物）その後、操作は“clear”ボタンを押すことによって再開されることができます。

外部からの問題（例：手でデッキを調節すること・過失でレイアウトに主電源を切る）のためにデッキのための位置が、割り当てられるボタン番号と一致しなくなった場合、デッキの位置決めを修正しなければなりません。

デジタル・レイアウトはこれのために電源をオフ　そしてオンしなければなりません、そして、すぐ“input”ボタンを押して記憶された位置1は呼び出します。

デッキがまだ正しい位置1にないならば、それは段階ボタン>またはくで、正しい位置に移動させます。

訂正は、“end”ボタンを押すことによって、記憶されます。それが記憶装置から設定トラックの全てを削除する、“clear”ボタンはこの手順の間、押しはいけません。

メンテナンスとサービス

ターンテーブル・デッキの位置1は、デッキが脱着された場合、点検されなければなりません。

重要事項：モーターであるものとギアボックスは、工場
で給油されています。

給油しないでください！
故障の原因になります。！

この製品はFCCルール のPart15に準拠していますが、使用に際しては以下の2つの制約を受けることがあります:
(1)他のシステムに有害な電磁妨害を引き起こしてはならない。かつ、
(2)他のシステムから、不正動作を引き起こす可能性のある電磁妨害を受ける可能性がある。

This device complies with Part 15 of the FCC Rules.

Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference, and
- (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Gebr. Märklin & Cie. GmbH
Stuttgarter Str. 55 - 57
73033 Göppingen
Deutschland
www.maerklin.com



www.maerklin.com/en/imprint.html

メルクリン社 許可済み
日本語テキスト 文責 HRS
2012.11.28

151219/0212/Ha4Ef
Änderungen vorbehalten
© by Gebr. Märklin & Cie. GmbH